

若手職員研修の開催について(第3回・第4回)

1 はじめに

県南広域振興局林務部では、地域の林業を担う林業従事者の定着・育成に向けて、令和5年度から様々な研修を行っています。

今年度は、補助事業や進捗管理に対する理解を深めることを目的として、管内林業事業体の若手職員を対象に全4回の研修を実施しました。第1回と第2回の研修内容については、林業普及現地情報 2025-7号で紹介したところです。今回は、第3回と第4回の研修概要について紹介します。

2 第3回研修の概要

第3回の研修は、令和7年10月16日に奥州地方森林組合を会場に行いました。

補助事業の「繰越」について講義を行いました。繰越とは、1年の中で終わる予定だった事業が予定どおりに進まず、予算を翌年度に繰り越すことです。講義では、明許繰越と事故繰越という二つの繰越の違いを説明しました。また、繰越の手続きがどのような流れで進むのか、スケジュールについて確認しました。参加者は10名で、補助事業の仕組みを改めて学ぶ良い機会となりました。



第3回研修「補助事業の繰越」について

3 第4回研修の概要

第4回の研修は、令和8年1月16日に奥州地方森林組合を会場に行いました。

ドローンを活用した進捗管理について講義を行いました。研修では、クラウド型ドローン測量サービス「KUMIKI」を紹介しました。「KUMIKI」は、クラウド上でドローン撮影画像からオルソ画像を作成することができるサービスで、特別なソフトを導入しなくてもオルソ画像を作成することができます。実際に「KUMIKI」を使ってドローン撮影画像から、オルソ画像を作成して見せることで、参加者は操作のイメージをつかむことができました。

また、作成したオルソ画像を活用して行うドローン測量が、補助事業にどう活用できるのかについて情報提供を行いました。

4 おわりに

今回の研修を通して、参加者は補助事業の仕組みや新しい技術について理解を深めることができました。今後も、林業従事者の育成と定着を図るため、現場の課題に対応した研修を継続的に行っていきたいと考えております。



第4回研修「KUMIKI」の紹介